

第2学年「音楽」学習指導案

授業者 町田 直樹

2月22日（金）4階アセンブリ 10:00～10:40 話し合い10:55～11:45

1 題材名 ききあおう

2 題材について

2年生になり、クラス替えをした子どもたち。新たに出会う仲間とともに、活動が始まった。私自身、昨年度はこの学年の子どもたちと副担任として、関わっていたが、本年度は、クラス担任としての関わっている。音楽の授業時数も週2時間に増え、昨年度よりたっぷり浸ることが出来るようになった。さて、音楽の時間では、要項に記したとおり、低学年で大切にしていることをベースに、昨年度から引き続き、からだを意識した活動を継続している。

この学年の子どもたちは、とても元気で、個人のパワーを感じる場面が多い。一方で、個が強い分、他者への意識が薄いと感ずることもある。日頃の授業でもそうだが、音楽の時間でも、聴くという事を意識した活動を取り入れている。友だちの歌声やリズムあそびで出る音などに耳をかたむけ、自分なりの感じ方で向き合ってほしいと願うと同時に、そのような身体になってほしい。低学年の頃から聴く身体を意識してカリキュラムを設けることで、高学年での音楽のひろがりや深まりが期待できると捉えている。

1年生の頃から、トーンチャイムの音に耳をかたむける活動や、まわりの音に着目した活動などを適宜取り入れてきた。2年生のこの時期は、自分のからだから出る音（ボディーパーカッションなど）を中心としたリズムあそびを楽しんでいる。リズムの重なりや音の重なりを意識した活動の中で、様々な聴き方を学んでほしいと思う。

本題材では、今まで経験したリズムあそびを活かして、リズムと音の重なりを意識してほしいと願う。音の重なりを感じ、聴くことから、様々な気づきに期待したい。もう一つは、からだまるごとで、拍を意識してほしいと願っている。これは、手あそびやわらべうたあそびを通して育てていけたらと考える。友だちと息をあわせ、自分の拍を感じることと、相手の拍を感じることが出来ればと思っている。低学年最後の音楽の活動。3年生での音楽することにつながっていくような学びを期待したい。

3 学習指導計画（3学期：12時間目／全16時間）

【常時活動】 自分で選んだ曲を歌う・リズムあそびやハンドサイン・わらべうたあそび

【適宜扱う】 聴くことを意識した活動・オスティナートをつけて歌う・音符とことば 他

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

・仲間とともに、息をあわせたり、拍を感じたりと、音楽することを楽しむ。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○自分で選んだ曲をみんなで歌う（1グループ4人） ・リズムにのる ・元気よく歌う ・好きだな、嫌いだな ・本をよく見る（指でなぞる） ・	安心して心地よい空間 姿勢や言葉（歌詞など）を意識させる まねをすることも大切である
○リズムあそび（リズムカード・カノン・早口言葉など） ・まねをしてみる ・よく見る ・友だちのまねをする ・リズムに言葉をのせてあそぶ ・むずかしいな	子どもの表情 グループの様子
○リズムを重ねてあそぶ・聴く ・おもしろいな ・合わない ・息があう	子どもの考えをつなぐ
○あそびをふりかえる ・〇〇のように聞こえた ・もっとうちがみよう	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

自分にとっての“音楽すること”について。